

歴代スープラに受け継がれる走りに心を震わす 「SUPRA Winter Festival 2026」を開催



ハイアットブランド「アンバウンド コレクション by Hyatt」として、「静と動が共存」する唯一無二の環境のなか、お客様と共にここだけのストーリーを紡いでいる「富士スピードウェイホテル（静岡県小山町、総支配人：吉川源太）」は、GAZOO Racing、Vintage Club by KINTO、富士スピードウェイホテルの3社コラボレーションによるイベント「SUPRA Winter Festival 2026」を開催しました。

予約開始と同時に完売し、70組を超えるキャンセル待ちが発生するなど、多くのスープラファンから注目を集めた本イベント。2月1日（日）、2日（月）の2日間にわたり、スープラへの熱い想いを胸に抱いた24組の参加者が集いました。歴代スープラの公道試乗、富士スピードウェイ本コースでの走行体験、富士モータースポーツミュージアムのツアーなどを通じて、スープラの走りの本質と、その背景に息づくストーリーや想いに触れるプログラムを実施。静寂に包まれた冬の富士山麓に、参加者の昂る鼓動と期待、そしてスープラのエンジンサウンドが幾重にも重なり合った、忘れられない2日間となりました。

■世代ごとに異なる鼓動を感じる。スープラの軌跡を辿る乗り比べ試乗。

スープラが歩んできた歴史と走りの変遷に触れられる公道での試乗体験。サーキット周辺のワインディングを走ることで見えてくるのは、スペックや年式だけでは語りきれない一台一台の個性です。トヨタのフラッグシップスポーツを体現してきた各代の乗り比べ試乗を通じて、スープラが時代ごとにどのような進化を遂げてきたのか、絶好のコンディションを維持されたVintage Club by KINTOの車両で味わいます。



今回の公道試乗は、歴代スープラを代表する6車種が集いました。初代スープラのルーツを感じさせる「セリカXX 2000GT (GA61)」、世界にSUPRAの名を知らしめた「スープラ 2.5GT ツインターボ (JZA70)」、名機2JZエンジンを搭載し、今なお語り継がれる存在である「スープラ RZ (JZA80)」、復活を遂げ現代の技術で新たな走りを提示した「GRスープラ (2019年式 RZ)」、さらなる進化を遂げた最新モデル「GRスープラ (2025年式 RZ)」、そしてTOM'SとKINTOが手がけたレーシングスピリットあふれる特別仕様「GRスープラ by TOM'S × KINTO」。世代も思想も異なる6台のスープラが一堂に会し、それぞれの時代が刻んできた走りを体感いただきました。

エンジンパワーの向上など進化を感じさせながらも、往年の名車が持つ独特のステアフィールやレスポンスの味わいに舌鼓を打つ贅沢な時間が流れました。



■富士スピードウェイ本コースを駆け抜ける究極の乗り比べ体験

国際規格を誇る全長約4.5kmの富士スピードウェイを舞台に、乗り比べができる特別なサーキット体験を実施。公道では引き出すことのできない名車それぞれの個性と本能を五感で感じながらスーブラがなぜ「走りの象徴」として愛され続けてきたのかを理解する時間となりました。サーキットを駆け抜ける中、ハンドルを握る指先から全身へと伝わる高揚感。走るほどに心が解き放たれ、次の一周を求めてしまう。身も心も揺さぶられる、まさに究極の体験となりました。



■スーブラの歴史を彩る6車種



セリカXX 2000GT (GA61)



スーブラ 2.5GTツインターボ (JZA70)



スーブラ RZ (JZA80)



GRスーブラ (2019年式/RZ)



スーブラ (2025年式/RZ)



GRスーブラ by TOM'S × KINTO

■富士モータースポーツミュージアムで味わう、限定ツアー

富士スピードウェイホテルの1Fと2Fにある富士モータースポーツミュージアムにて、イベント参加者限定のプライベートツアーを実施しました。ガイドを務めたのは、館長・布垣直昭氏。布垣氏の専門的かつ奥行きのある解説とともに、モータリゼーションの始まりに触れながら進むツアーは、気づけばスープラのレースヒストリーへ。展示車両を前に参加者がそれぞれの視点で展示に見入り、解説に耳を傾ける姿が印象的なツアーとなりました。ツアー後には、展示内容や当時の開発背景、レース活動に関する質問も多く寄せられ、スープラへの理解がさらに深まる時間に。

試乗で感じ、ミュージアムで知る。その両方を通じて、スープラの世界観をより深く味わえる、スープラフェスならではのプログラムとなりました。



■開発やレストアの裏話に耳を傾ける、特別なランチタイム

本イベントでは、参加者が一堂に会する懇親ランチを開催しました。Vintage Club by KINTO担当者や、スープラの開発担当者のトークでは、開発背景や当時のエピソードなど、ここできしか聞けないスープラの裏話に花が咲きました。富士山の絶景を望む「TROFEO イタリアン」にて、ファンとつくり手が垣根なく語り合い、過去の思い出話から未来のクルマづくりにまで話題が広がるひとときに。静岡の厳選食材を使用したランチコースとともに、温かな交流の時間がゆったりと流れました。



「Vintage Club by KINTO」について

現代の自動車は、とても快適でスタイリッシュですが、ちょっと昔のクルマ、いわゆる旧車は、いじる楽しみとダイレクトに機械に触れる感覚、近年のクルマにはない独特の味を持っています。“一人ひとりの「移動」に「感動」を”というビジョンを掲げているKINTOでは、現代のクルマとともに、旧車に気軽に触れる場をつくり、皆さまと一緒に旧車を楽しみたいと考えます。旧車が好きな社内メンバーでプロジェクトが結成され、「いつか旧車を使った新たな楽しみを提案したい」という思いが、トヨタ自動車のクルマ好きメンバー、新明工業というレストアのプロたちとの出会いで形となりました。

近年、ますます旧車が注目を浴びている中、「Vintage Club by KINTO」では、クルマ好きなお客様と一緒に楽しみ、旧車に乗れる喜びを分かち合えるようなコミュニティを目指してまいります。

詳細はこちら：<https://vintage.kinto-jp.com/>



「富士スピードウェイホテル」について

ハイアットのブランド「アンバウンド コレクション by Hyatt」の富士スピードウェイホテルは、「モータースポーツとホスピタリティーの融合」をコンセプトにしています。富士山の麓に位置し、国際サーキットである富士スピードウェイに隣接し、レーシングカーのミュージアムが同居していることが特徴です。この「静と動が共存する」唯一無二の環境の中で、モータースポーツ、富士登山、ウェルネス体験などによって生み出される類まれなストーリーを、お客様と共に紡いでいます。



ホテル概要

名称	：富士スピードウェイホテル（英語表記：Fuji Speedway Hotel）
所在地	：〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神645
客室数	：120室（宿泊棟115室・ヴィラ5室）
付帯施設	：料飲施設4、温泉浴場、スパ、屋内プール、ジム、Ballroom、Meeting Room他
駐車場	：262台
開業日	：2022年10月7日
サイト	：富士スピードウェイホテル fujispeedwayhotel.jp Instagram instagram.com/fujispeedwayhotel Facebook facebook.com/FSWHOTEL

「アンバウンド コレクション by Hyatt」について

アンバウンド コレクション by Hyattは独立したホテルを単に取り揃えたコレクションではなく、語るべきストーリーに彩られた唯一無二のホテルを慎重に「キュレーション」したブランドです。アンバウンド コレクション by Hyattのホテルは例えば、現代の驚異のような、あるいは歴史の中の宝石のような、それとも活力を与える静養のような、筋書の無い非日常に浸る旅をお届けします。全てのコレクションは unboundcollection.hyatt.com にてご覧ください。Facebook、Instagramで、@UnboundxHyatt をフォローしてください。ハッシュタグ「#UnboundxHyatt」を付けた写真の投稿もお待ちしております。

以上

※本リリース中の「ハイアット」とは、ハイアット ホテルズ コーポレーションおよび（または）その関連会社を指す用語として使用されています。